

- 1 おはようございます。私はジョン・ハスラーと申します。

今日は「Anki」使用者の外国語学習の際に生じる不安度減少への見解について発表したいと思います。

- 2 こちらは概要です。

- 3 なぜ私がこのキャップストーンのタイトルを選んだかという
うと日本で勉強していた時、多くの漢字を学ばなければなら
なかったので「Anki」と言いうアプリケーションを使用し勉
強しました。「Anki」は言葉を覚えるために「Spaced
Repetition (SRS)」と言うアイデアを使ったものです。

- 私と同じ「Anki」のユーザーは「Anki」をどのように使っ
ているのか。また「Anki」がどのように言語を学ぶ際に不安を
減少させるのに貢献しているかを知りたいと思ったからです。

- 4 私の研究質問は「いつどのように「Anki」を使うことが外国語学習の際に生じる不安度の減少に役立つのか。」です。

- 5 このような順序で研究背景について話します。

- 6 それではまず外国語学習の際に生じる不安について話します。これは外国語を学習する際、話す時や読む時に不安を感じ、学習成果に否定的な影響を及ぼすことをいいます。

このような不安が高すぎると学業成績が下がり、学生は自信をなくしていきます。このような不安度を測るためには色々な研究がなされております。齋藤、ホーエツ、ガーザ等は例として次のような不安をあげています。

- 日本語で書かれているページを見ると、不安を感じる。
- 日本語を読む時分からない文法を見るといらいらする。
- 自分以外の学生のほうが自分より上手に思う。

- 他のクラスより、日本語のクラスでは神経質になり緊張する。
- クラスを落とすのではないかと心配する
- 等です。

- (Saito, Horwitz, & Garza 1999)

- 7 それではここで「Anki」というアプリケーションについて話します。「Anki」はフラッシュカードのようなもので答えを見て、「覚えているか、いないか」を選択します。覚えていないとされたカードは、次回に学ぶように自動的に設定されます。覚えていたカードは、将来忘れることを推測し、もう一度練習できるように設定されます。これが「Spaced Repetition」です。このように、覚えていないカードだけ「Anki」で学べるので多く時間をかけないで、数多くのカードを勉強できます。「Anki」は色々なデバイスで使え、使い方も使う人によってカスタマイズできます。また、ユーザ

一はあらかじめ作られた色々な「Anki」カードをオンライン上で使うことができます。

- 8 これは「Spaced Repetition System」の歴史です。1885年に **Ebbinghaus** により忘却曲線が発見され今の「Anki」にいたったわけです
- 9 忘却曲線はこの図の緑の線に示されているように毎日勉強すれば、どのくらい覚えているかを表したものです。
- 10 「Spaced Repetition」は1939年に **Spitzer** が初めて行った研究で、3600人の小学生に短い段落を読ませ、「SRS」を使った生徒と使わなかった生徒とを比較し、63日後に比べたところ SRS」を使った生徒の方が記憶が顕著に良かったことが明らかになりました。
- 11 Graduated Interval Recall」は効率的に学習するためピムスラーによって名付けられた1967年に開発されました。1970年代には **The Leitner System** というフラッシュカードを処理する制度が開発されました。一番目の箱は毎日勉強し

ますが、二番目は一日おきにします。カードを復習する時、正しい答えは次の箱に入れます。間違えは、一番目の箱に動かします。

- 「Anki」はコンピュータ化され、この2つのシステムを併用したものです。
- 12 ではここで私が行った研究について話します。アンケートの回答者は
- **89名**の「Anki」の使用者で、「KooHii.com」と「**Japanese Level Up**」から集めました。
- 男性が**69名**で、女性が**17名**でした。
- **64.1%**は**24歳**以上で、**57%**は日本語のクラスを取ったことがあります。
- 13 まず、この図からもわかるように約**55%**の回答者が**26歳**から**39歳**まででした。
- **14.43%**の回答者は日本語のクラスをとっていません。57%のクラスをとっている人たちのうち**1・2年生**の日本語

のクラスを取った人が23%、上級レベルの学生が15%、高校生も8%いました。

- 15 回答者の日本語の学習期間については35%の回答者は3年以上、日本語を勉強していることがわかりました。しかし、この図からもわかるように日本語の学習期間にかかわらず使用しているようです。
- 16 次に「Anki は学習と復習のどちらに役立つのか」について聞いたところ、約100%の人が復習に使っており、学習にも使っていると答えた人は80%に及んでいます。つまり「Anki」は学習と復習の両方に役立つようです。
- 17 「Anki」では色々なことが勉強できます。しかし、72%の人が「熟語を勉強しており、約50%が文法や漢字以外の言葉の勉強に使用しています。
- 18 では「Anki」はどんなことがすぐれているのでしょうか。80%の人は「Anki」の「Guided Review」が一番好きなようです。二番目にはアプリがただで使用できることです。

- 19 「Anki」のあまり好きではない点について聞いたところ、インターフェイスが複雑で分かり難いことや、使っていてあきる等があげられました。
- 20 「Anki」の使用者の「Anki」に関する調査の結果をまとめます。あんきはほとんどは外国語の復習にも学習使用されていますが、特に **Guided Review** 等の復習に適しているようです。また、「Anki」で、熟語、文法、漢字、外来語やオノマトペのような表現を学習するようです。しかし、インターフェイスが複雑で分かり難いことや、使っていてあきる等の問題点もあるようです。
- 21 次に、「Anki は不安度を減少するか」という質問について「**Foreign Language Reading Anxiety Survey (FLARAS)**」とこのキャップストーンの「Anki」の結果を比べたいと思います。
- 「FLARAS」は様々な外国語の不安を研究します。たとえば「**Cognate Language(フランス語)**」「**Semi-Cognate Language (ロシア語)**」と「**Non Cognate Language (日本語)**」を一

緒に研究します。このキャップストーンは日本語だけを研究するので、「FLARAS」の日本語の勉強をする回答者だけと比べます。

- 「FLARAS」から、6つの質問を選びました。自分の回答者と「FLARAS」の日本語を勉強する回答者の答えを比べました。読むことに対する不安の質問が3つ、一般の外国語のクラスに対する不安質問が2つ、そして最後の質問は試験の不安についてです。
- 緑の線は「FLARAS」、オレンジはこのキャップストーンの「Anki」についての調査結果です。
- 22 それではここで研究質問についての結果を発表いたします。
- 23 「日本語で書かれているページを見ると、両方の研究の回答者は半分位不安を感じています。「Anki」ユーザーの12.4%は不安を全く感じないと答えたのはおもしろいと思いました。

- 24 また、「FLARAS」と比べると、多少「Anki」使用者の方が日本語を読む時分からない文法を見るといらいらしないということがわかり、特に15%の「Anki」使用者は全くいらだたないようです。
- 25 一人で読むことはいいが、音読する時不安を感じるというに関しては「FLARAS」と比べると、「Anki」使用者のほうが読んでいるときに不安を感じるようです。
- 26 自分以外の学生の方が自分より上手に思うかどうかに関しては「Anki」使用者より「FLARAS」の回答者の方が不安を感じないようです。
- 27 クラスの進み方が速すぎてついていけないか心配だという事に関しては「FLARAS」の方が、「Anki」使用者より不安度が高いです。
- 28 試験に関しては 「「Anki」の利用者の方が安心度は高いですが、どちらともいえないといっている45%の利用者のことも考慮しなければなりません。

- 29 この調査から「Anki」の利用者は確かに外国語学習の際に生じる不安度への減少には貢献しているように思われます。

30 「Anki」の利用者は私がネットで連絡がついた人にかぎるためこの結果は一般化はできません。

将来研究の課題としては

利用者にはそれぞれ違う使い方があるようなので一人ずつインタビューし、どのような使い方が効果的なのかを調べたいです。また「Anki」を長く、うまく利用している人がどのような不安度に影響するののかも知りたいですし、長期的利用者の効果についてももっと深く追及したいです。

- 31 これが調査の文献です。 (INDENT)
- 32

- 33 Damien Elmes は「Anki」を作った人です。また Adam

Shapiro と Fabrice は回答者集めを手伝ってくれました。斉藤

先生、関根先生、どうもありがとうございました。比奈さん、

Gus さん日本語やテックの面でサポートしてくださりありが

とうございました。